

全校遠足

11月5日（水）、飯能・多峰主山に全校児童で遠足に行ってきました。

学校を出発した子どもたちは、電車で飯能まで移動しました。駅のホームでの待ち方や、電車の中のマナーは大変素晴らしく、乗り合わせた方からたくさんのお褒めの言葉を頂きました。

飯能駅に着くと、生活団の団長を中心に多峰主山の山頂を目指していよいよ出発です。地図を広げて歩く6年生の姿には、下級生の憧れの眼差しが注がれていました。

今年もコースは5つに分かれました。6年生は、事前にコースの様子を調べ、これまでにそのコースで登ったことのある友達に聞きながら、準備を進めてきました。そして、自信をもって歩いていました。山道の途中で、どちらに進めばよいか決断しなければならない場面もありました。しかし、さすが6年生です。すぐに相談してしっかりと頂上を目指すことができました。そんな6年生の姿を見て、1年生の子たちは、「6年生ってすごい。」と口々に言っていました。



頂上に着くと、2つの嬉しいことがありました。1つは、校長先生からの温かいお言葉と記念写真。もう1つは頂上から眺める素晴らしい景色です。今年も富士山も見えました。また、上級生は、ペアの下級生に「大変だったね。」「よく頑張ったね。」という温かい言葉をかけていました。



お弁当も団のみんなで食べました。ここでも6年生が活躍し、みんなが座れて、歩く人に迷惑をかけないところを探していました。そして、ペアごとにシートに座り、山登りの話やきくまつりの話をしながら楽しく食べている姿からは、団のみんなが家族であるかのような温かさが感じられました。持ってきたお菓子も、みんなに分けてあげながら、楽しい食事とお菓子交換の時間となりました。

帰り道には、疲れてしまった下級生の荷物を持ってあげたり、電車の中で寝てしまった1・2年生を温かく見守ったりする上級生の姿が見られました。きっと、上級生は何年か前の自分を思い出し、そして、下級生は何年後かの自分を思い描いたことでしょう。

みんなの心に残る全校遠足になりました。

